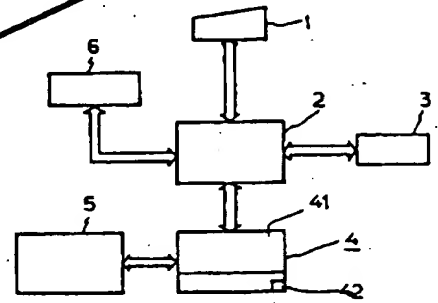


**(54) SENTENCE PROCESSOR**

(11) 62-34217 (A) (43) 14.2.1987 (19) JP  
 (21) Appl. No. 60-173884 (22) 6.8.1985  
 (71) SHARP CORP (72) TATSUHIRO MOMOTAKE(1)  
 (51) Int. Cl. G06F1/00, G06F15/20

**PURPOSE:** To improve the operability of a sentence processor by providing a means which holds the mode selected previously even when the power supply of the processor is turned off and then setting a desired mode when the power supply is applied.

**CONSTITUTION:** The power supply of a sentence processor is turned on for reference to the state of a mode flag 42 of a memory device 4. An editing control part 2 is set in a sentence input mode when the flag 42 is set at "1" together with an instant sentence input mode set. While a task is selected if the flag 42 is set at "0" with the instant sentence input mode set. Thus a sentence input mode is immediately set after the power supply is turned off for interruption of the input of sentences and applying the power supply for restart of input of sentences. Then an input operation can be started. This improves the operability of the sentence processor.



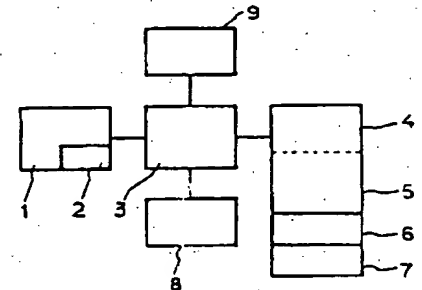
1: keyboard, 3: mode switch control, 5: back-up device,  
6: display device

**(54) ELECTRONIC EQUIPMENT**

(11) 62-34218 (A) (43) 14.2.1987 (19) JP  
 (21) Appl. No. 60-173883 (22) 6.8.1985  
 (71) SHARP CORP (72) HIROYUKI NAGASAWA(1)  
 (51) Int. Cl. G06F1/00, G06F15/20

**PURPOSE:** To obtain an electronic equipment which can save the power supply and improve the operability by providing a setting means which can select the presence or absence of a power supply saving mode in response to the request of an operator.

**CONSTITUTION:** A power saving counter 6 counts down its count value as the time elapses as long as no key input is detected in case a power saving mode is designated. Then the power saving mode is set when the count value of the counter 6 is equal to "0". While the count value of the counter 6 is never reduced less than a prescribed level if the power saving mode is not designated. Thus, the power saving mode can be selected and set in case it is desired to stop the power consumption of a battery, etc. Furthermore, the power saving mode can be avoided in such a case where the operability of an electronic equipment is deteriorated with the power saving mode set for use of an AC power supply.



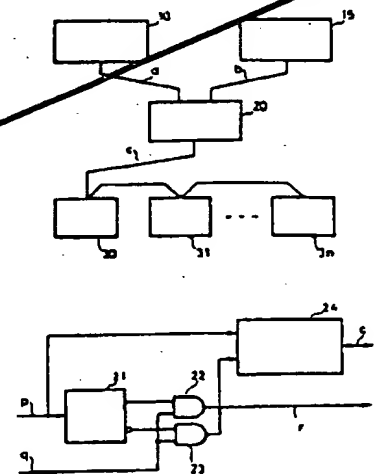
1: input device, 2: key count timer controller, 3: editing processor, 4: storage device, 5: sentence buffer, 7: power saving flag, 8: display device, 9: printer

**(54) POWER SUPPLY CONTROL SYSTEM**

(11) 62-34219 (A) (43) 14.2.1987 (19) JP  
 (21) Appl. No. 60-173752 (22) 6.8.1985  
 (71) NEC CORP (72) TATSUO YAJIMA  
 (51) Int. Cl. G06F1/00

**PURPOSE:** To prevent the failure cause when a power supply is applied by validating only the command of make that are delivered in the lapse of a prescribed period of time after a command of break is produced in such a system where the power supplies of the same devices are controlled by the power supply make/break commands of plural computer systems.

**CONSTITUTION:** A power supply break command for IO device given from an electronic computer system 10 is decoded and a break command line (p) is driven. Thus, the power supply of the IO device is cut off by the signal given from a power supply make/break control circuit 24. At the same time, a timer circuit 21 is started. The circuit 21 is inactive after a prescribed period of time. Then a make command line (q) is driven when a power supply make command is delivered to the same IO device from an electronic computer system 15. This power supply make command is validated after a prescribed period of time or invalidated before lapse of said prescribed period respectively. This produces no failure when the power supply is applied.



20: power supply controller, 30-3n: IO device

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭62-34218

⑮ Int.Cl.<sup>4</sup>G 06 F 1/00  
15/20

識別記号

1 0 2

庁内整理番号

E-7157-5B  
S-7010-5B

⑬ 公開 昭和62年(1987)2月14日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑯ 発明の名称 電子機器

⑰ 特 願 昭60-173883

⑱ 出 願 昭60(1985)8月6日

⑲ 発 明 者 長 澤 宏 行 大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内  
⑲ 発 明 者 田 中 淳 司 大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内  
⑲ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
⑲ 代 理 人 弁理士 杉山 毅 至 外1名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

電子機器

## 2. 特許請求の範囲

1. 電源を節約するための電源節約モードを持つ  
電子機器において、

前記電源節約モードの有無をオペレータの希望に応じて選択できる設定手段を具備することを特徴とする電子機器。

## 3. 発明の詳細な説明

## &lt;技術分野&gt;

本発明はワードプロセッサ等の電子機器の改良に関し、特に電源節約モードに関するものである。

## &lt;従来技術&gt;

電子機器としてたとえばパーソナルワードプロセッサでは最近携帯性を考え、電池駆動のものが多く、電池の消耗を防止するため、一般に電源ON状態で一定時間放電しておくとはほとんどの電源が切れ、一定キーのキー待ちと表示の電源だけがいった状態、すなわち電源節約モードとなるよ

うになっていた。

しかしながらこのような従来の構成では、入力操作中、キー操作を一定時間用いないときには、自動的に電源節約モードとなってしまう操作性が悪くなるという欠点を有している。またAC電源と電池の切替使用可能なものにおいて、AC電源を用いる場合には、電池のような消耗による交換が必要であるから、そのため特に電源節約モードは必要ないのかえって電源節約モードに切替わることは操作性を悪くするだけである。

## &lt;発明の目的&gt;

本発明はこのような従来の欠点に鑑みて成されたもので、オペレーターが自由に電源節約モードの要否の切替をすることのできる電子機器を提供することを目的とする。

## &lt;実施例&gt;

以下図面に基づいて本発明の電子機器について詳細に説明する。

第1図は本発明の一実施例であるワードプロセッサの構成を示すブロック図である。第1図中、

1は各種入力キーを備えた入力装置で、キー信号検出ループの周期をカウントするキーカウントタイマコントローラ2を有する。該コントローラ2は後述する節約カウンタのカウント数をキー信号検出ループ1周期ごとと1つずつカウントダウンさせるものである。3は入力装置1にて入力されたデータを編集する編集処理装置である。4は文章バッファ5等よりなる記憶装置で、電源ON時の未操作時間を計測する節電カウンタ6と電源節約モード指定の有無が登録される節電フラッグ7を有している。8は入力、編集された文章を表示する表示装置、9は編集された文章を印字する印字装置である。

次に本発明の動作を第2図のフローチャートを用いて説明する。

S1(START):ワードプロセッサ本体の電源ONにより、各種キー入力待ちの状態となる(初期状態)。

S2(節電カウンタセット):電源ONに基づいて節電カウンタは所定の時間(たとえば10


分の)電源節約モード指定の有無により制御されるもので、電源節約モードを指定している場合はS7へ進み、指定していない場合にはn1へもどる。

S7(節電カウンタ1カウントダウン):節電カウンタ内のカウント数を1カウントダウンしたのちn1へもどす。

このように電源節約モードを指定した場合にキー入力がないければ時間の経過と共に節電カウンタのカウント数はダウンしていき、0になったときに電源節約モードとなる。また指定していない場合にはカウント数は所定のカウンタ数からダウンすることがないので電源節約モードに設定されることはない。

次に第3図のフローチャートを用いて電源節約モードの設定、解除動作の一例を説明する。

S11(START):例えば「機能」+「パ」のキー操作によって電源節約選択モードとなり表示装置8に第4図のような表示が現われる。

S12(電源節約モードの有無の選択):

分)に対応するカウント数にセットされる。

S3(キーカウントタイマコントローラスタート):入力装置1のキーカウントタイマコントローラ2が動作開始する。すなわち、該コントローラ2がS2でセットされた節電カウンタのカウント数をキー信号検出ループ1周期ごとと1つずつカウントダウンする。


S4(キー入力の有無):キー入力の有無を検出し、キー入力があった場合にはS41へ進み、キー入力がない場合にはS5へ進む。

S41(節電カウンタ再セット):カウントダウンされた節電カウンタを所定の時間に対応するカウント数に再セットする。

S5(節電カウンタの0の検出):節電カウンタのカウント数を読み取り、カウント数が0になっていればS51へ進み0でなければS6へ進む。


S51(電源節約モードの設定):電源節約モードが設定され、ほとんどの電源が切られ、必要最低限のものだけに電源が入る状態となる。

S6(電源節約モード指定の有無):オペレー

及びキーにてカーソル等を移動させて電源節約モードの有無を選択する。そして電源節約モードを「有」とした場合はn13へ進み、「無」とした場合はn14へ進む。

S13(節電フラッグ→1):節電フラッグのフラッグを「1」として電源節約モードを設定できる状態となる。

S14(停電フラッグ→0):節電フラッグのフラッグを「0」として電源節約モードが設定されない状態となる。

S15(RETURN):キーを操作してS13あるいはS14で設定した状態を実行させる。

以上のような構成とした~~場合~~<sup>ために</sup>、オペレータの希望によって電源節約モードの有無が自由に設定できるので電源節約と操作性の双方を共に備えるワードプロセッサである。

<発明の効果>

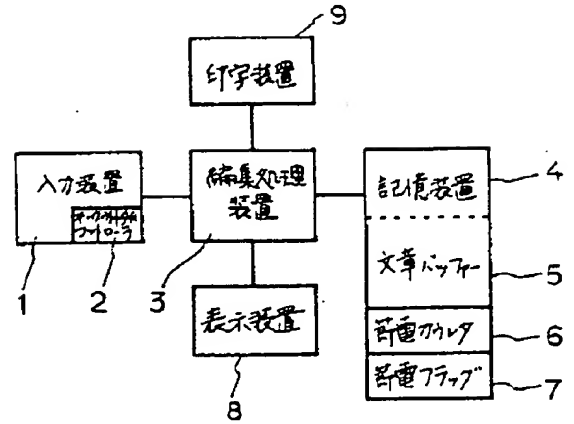
上述の如く本発明の電子機器は、電源節約モードの有無をオペレータの希望に応じて選択できる

設定手段を設けたことにより、電池等の電力消費を防止したいときなどには、電源節約モードの設定ができ、またAC電源の電池の切替使用可能なものにおいて、AC電源を用いた場合など電源節約モードが設定されると操作性がかえって悪くなるようなときには、電源節約モードとならないように設定できるので、電源節約と操作性の双方を共に備える電子機器である。

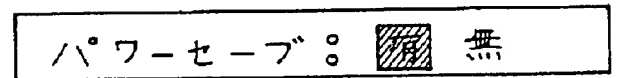
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係るワードプロセッサの構成を示すブロック図、第2図は同動作を示すフローチャート、第3図は同電源節約モードの設定、解除動作を示すフローチャート、第4図は電源節約選択モードの表示装置の表示例を示す図。

1：入力装置、2：キーカウントタイマコンローラ、3：編集処理装置、4：記憶装置、6：節電カウンタ、7：節電フラッグ。

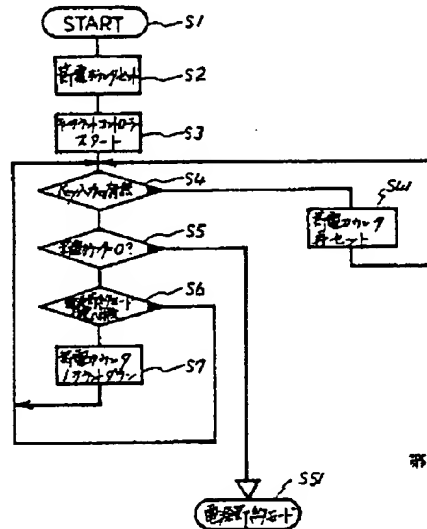


第1図

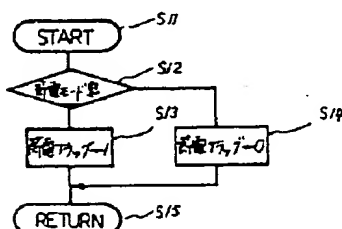


第4図

代理人 弁理士 福 士 愛 彦(他2名)



第2図



第3図